

第2回地域未来戦略本部 議事要旨

日時：令和8年6月30日（火） 16：25～16：34

場所：官邸2階小ホール

（概要）

（黄川田大臣）ただいまから、第2回地域未来戦略本部を開催します。副本部長の黄川田です。どうぞよろしくお願いいたします。それでは議事に入ります。本日は、「地域未来戦略の原案」を議題とし、私から御説明いたします。

（黄川田大臣）資料1の概要に基づき説明いたします。

1 ページ目をご覧ください。地域未来戦略は、強い地域経済の構築のため、従来とは異なる大胆な発想で取組を進めます。地方に大規模な投資を呼び込み、各地に産業クラスターを戦略的に形成するとともに、地域資源を最大限に活用し、地場産業を含む地域の産業、地域経済の持続的な成長を図るため、3種類の計画を策定します。地域未来戦略に基づく投資は、新たに設ける『「強く豊かな日本」投資枠』も活用して強力に推進します。また、「戦略産業クラスター計画」に関しては、既存の予算とは別枠で大胆に進めることとしております。

2 ページ目に続きますが、地域発のアイデアに基づく計画を強力に進めるため、地域未来交付金を拡充し、国の中堅・中小企業向け設備投資補助金などに地域未来枠を設けるべく検討します。こうした予算は、当初予算で大胆かつ計画的に措置し、予見可能性の高い予算措置の下で、日本列島に「産業クラスターの花」を咲かせていきます。さらに、国内各地で投資がどの程度進んでいるかを把握し、マップを定期的に改訂・公表してまいります。

3 ページ目をご覧ください。戦略の全体構成です。「47都道府県のどこに住んでいても、安全に生活することができ、必要な医療・福祉や、質の高い教育を受けることができ、働く場所がある社会の実現」を目標とし、3つの政策目標、その実現のための施策を記載しています。人的支援・人材育成などの横断的施策にも取り組むとともに、PDCA サイクルを徹底し、戦略全体の実効性を高めます。

4 ページから7 ページは、それぞれの政策目標について取組を進めていく主な施策を示しています。

私からの説明は以上でございます。それでは、各大臣・副大臣から発言をいただきたいと思います。まず、金子国土交通大臣、お願いします。

（金子大臣）地域未来戦略の着実な実行に向け、国土交通省としては、交通やインフラなど地域の暮らしと経済に密着した分野を担う立場から、現場の声に寄

り添いながら各施策を強力に推進してまいります。

戦略産業クラスター計画については、「造船」や「港湾ロジスティクス」等の投資案件の具体化と、道路、港湾等のインフラや空港アクセス鉄道の整備等を推進します。

地域産業クラスター計画については、観光拠点整備等を推進し、地場産業成長プランについては、歴史や景観をいかした観光振興等を通じ、地域の稼ぐ力の向上につなげてまいります。

強い地域経済を下支えする豊かな生活環境や選ばれる地方の実現に向けた取組も推進してまいります。

具体的には、「交通空白」の解消や地域交通 DX の推進、ドローンを活用した新たなサービスの社会実装などにより、持続可能な地域公共交通の実現に取り組めます。

また、人口減少下においても安心して暮らし続けられる地域づくりのため、「群マネ」によるインフラの老朽化対策、防災・減災の取組を進めるとともに、コンパクト・プラス・ネットワークの深化や「地域生活圏」の形成等を推進してまいります。

さらに、スモールコンセッションや空き家等を活用した二地域居住の促進等を通じ、地域の魅力向上と関係人口の拡大を図り、選ばれる地方の実現につなげてまいります。

(黄川田大臣) 次に、赤澤経済産業大臣、お願いします。

(赤澤大臣) 高市政権が目指す「強い経済の構築」を真に目指すためには、地域の産業クラスターの戦略的な形成を進めながら、地域が直面する構造的課題に真剣に向き合わなければなりません。

労働供給制約社会において、賃上げは単なる分配政策ではなく、人材を惹き付け、生産性向上投資を促し、企業の行動変容を促進する「供給力強化政策」そのものであり、国や企業の成長戦略の起点であります。

また、地域に根ざし、現場現業型でスピード感のある中堅・中小企業にとって、AX (AI トランスフォーメーション) は、抜本的な経営改革を通じて人手不足を乗り越え、大企業を一気に追い抜く、リープフロッグのチャンスでもあります。こうした認識を国や自治体、関係団体が共有した上で、具体的なクラスター計画に反映し、実行していくことが重要です。

経済産業省としては、今後策定される各種のクラスター計画に基づき、その核となる大規模投資や周辺のサプライチェーン投資、クラスターを支える民間拠点整備や人材育成の取組を、一体的かつ重点的に後押ししてまいります。

『「強く豊かな日本」投資枠』の活用も念頭に、新たな投資を誘発し、地域に

波及効果を生み出す具体策を早急に検討し、予算要求に反映してまいります。

また、大胆な賃上げを伴う大規模投資への支援といった今年度予算で対応できるものから先行的に、クラスターの形成や地域発のＡＸに活用いただけるよう、動き出してまいります。

（黄川田大臣）次に、城内国務大臣、お願いします。

（城内大臣）先日の経済財政諮問会議では、高市総理より、責任ある積極財政の考え方の下、『「強く豊かな日本」投資枠』の創設が表明され、今後とりまとめる日本成長戦略や地域未来戦略などを踏まえ、国内民間設備投資や潜在成長率を引き上げる効果の高い措置をその対象とすることとしている。

日本成長戦略では、「１７の戦略分野」における官民投資ロードマップに加え、「８つの分野横断的課題」の対応策を取りまとめる予定であり、いずれも、今回示された地域未来戦略との連携が重要な課題。

「１７の戦略分野」については、関連する企業の大規模投資を起点とする「戦略産業クラスター計画」と連携して進めることで、投資の実効性を高めることが可能となる。

また、「８つの分野横断的課題」への対応策は、インフラ整備、地域金融力の強化、人材の確保・育成など地域未来戦略を進める上での課題への対応策ともなる。

日本成長戦略の実行状況については、PDCA サイクルを回し、施策のブラッシュアップや見直しを進める予定であるが、地域未来戦略を実行していく中で顕在化する課題もインプットして頂き、よく連携しながら両戦略を進化させていきたい。

また、昨日の第２回人口戦略本部において、総理から、本年末を目途に一貫した総合的な戦略を策定すべく検討を進めるよう指示があった。持続可能な地域社会の構築等に向けて、地域未来戦略の取組とも密に連携して進めるべく、よろしくお願い申し上げます。

（黄川田大臣）次に、中村文部科学副大臣、お願いします。

（中村副大臣）

強い地域経済の構築のためには、地域毎の課題や強みを踏まえ、各地域の産業の基盤となる人材を育成することが重要です。

そのためには、産業構造の変化等を踏まえた高校から大学・大学院等を通した人材育成システム改革を進めることが重要です。

具体的には、専門高校を含む高校教育の振興、成長分野への学部再編など重点

分野に係る大学・大学院・高専の体制・機能強化、基盤的経費の大幅拡充を通じた産業人材の育成強化、公立高専の設置促進、専門学校における教育の充実、17の戦略分野等に対応するリ・スキリングのための教育プログラムの開発の推進に取り組むことが重要です。

また、地域のイノベーション創出や地域の強みを活かした地場産業の振興に向け、産学協働での研究開発と一体的な、研究者・技術者育成、新たな研究大学群の形成や、共創拠点としてのキャンパス機能の強化、日本博の推進等、文化資源の持続可能な保存・活用や、博物館・劇場・音楽堂等の魅力向上の取組への支援、コンテンツ分野・スポーツ分野の人材育成を進めていくことが重要です。

文部科学省としては、教育機関と自治体、産業界、関係府省等とも連携しながら、地域の成長を牽引する人材の育成等を通じて、地域未来戦略を強力に進めてまいります。

（黄川田大臣）次に、根本農林水産副大臣、お願いします。

（根本副大臣）農林水産省としては、地域未来戦略も踏まえ、食料安全保障の確保に向け全ての田畑を活用しつつ、食の分野を我が国の稼ぎの柱とするとともに、地域資源を活かした地場産業の成長を通じ、地方に活力を取り戻してまいります。

具体的には、今回の地域未来戦略に、しっかりと位置づけていただいた、農林水産政策における攻めの分野について、植物工場や陸上養殖、食品機械、新規食品など我が国の技術の“粋(すい)”が詰まったフードテックやスマート農林水産技術、新品種等の先端技術の活用による生産性向上により、食料供給力を補完・強化していくとともに、地域の農林水産物、食や食文化等の多様性に富んだ魅力ある地域資源を活用したインバウンドの呼び込みや需要拡大・輸出拡大等の付加価値向上等を積極的に推し進めてまいります。

これらの推進に際しては、地域金融機関等とも連携し、農山漁村と地元企業等が win-win の関係となり、ローカルなレベルを中心として官民投資を呼び込んでいくことで、地域経済の持続的な成長を図り、強い地域経済の構築にも繋げてまいります。

地域未来戦略の目標の実現に向け、引き続き、地方農政局を始めとすると各府省庁の地方支分部局とも連携し、農林水産省を挙げて、大胆な計画実現を目指す地方公共団体をソフト面でも伴走支援し、現場主義で地域ごとのオーダーメイドの取組が進むよう努めてまいります。

（黄川田大臣）今回議論いただいた地域未来戦略については、本日の議論と今後の与党との調整を踏まえ、次回の地域未来戦略本部において取りまとめたいと

思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声)

(黄川田大臣) ありがとうございます。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、高市総理からご発言をいただきますが、その前に、資料3をご覧ください。6月24日の経済財政諮問会議と日本成長戦略会議の合同会議で、高市総理から地域未来戦略についてご指示がありました。資料3は、そのご指示を踏まえ、担当大臣として、地域未来戦略予算のイメージをお示ししたものであります。

それではプレスが入室いたしますので、少々お待ちください。

(報道関係者入室)

(黄川田大臣) 高市総理、それではよろしく申し上げます。

(高市総理) お疲れ様でございます。高市内閣では、47都道府県どこに住んでも、安全に生活することができ、必要な医療・福祉、質の高い教育を受けることができ、働く場所がある。そういう社会の実現を、目指しております。

このような社会を実現するためには、何よりもまず、強い地域経済を実現することが重要です。予見可能性の高い予算措置の下で、国と地方公共団体が二人三脚で、日本列島に「産業クラスターの花」を咲かせていきます。

『日本成長戦略』とともに官民投資を誘発し、地方で大小の産業クラスターを戦略的に形成することによって、地域での投資を促進し、働く場所を創り、それを支える人材育成のエコシステムを生み出してまいります。

先週の「経済財政諮問会議・日本成長戦略会議 合同会議」におきまして、『地域未来戦略』に基づく投資を『「強く豊かな日本」投資枠』を活用して、強力に推進していく方策の検討を、指示しました。

黄川田大臣は、本日提示された資料3の『地域未来戦略予算のイメージ』に基づき、概算要求に向けて、事業者や地方公共団体にとって予見可能性の高い『地域未来戦略予算パッケージ』を作成してください。

その際、「既存予算との別枠化」、「内閣府一括計上移し替え執行」などについて、片山大臣、金子大臣、赤澤大臣、松本文科大臣、林大臣をはじめ関係大臣との調整を加速してください。

また、黄川田大臣は、『地域未来戦略』の3つの種類の計画策定にあたり、各地の経済団体と地方公共団体、各府省庁の地方機関との意思疎通・連携を促して、

経済界の「広域民間連携推進」への機運を活かし、真に実効性のある計画策定につなげてください。

あわせて、黄川田大臣は、経済産業省とも連携し、国内各地で投資がどの程度進んでいるのかをきめ細かく把握し、『国内投資マップ』の公表に向けた作業を加速してください。

7月中にも予定される第1弾の計画公表を皮切りに、日本列島に「産業クラスターの花」を咲かせてまいりましょう。私からは以上です。

(黄川田大臣) ありがとうございます。プレスの方は御退室ください。

(報道関係者退室)

(黄川田大臣) 以上をもちまして、第2回地域未来戦略本部を終了させていただきます。ありがとうございました。